

奈良の仏像海外展示

平成29年8月

【担当省庁】文部科学省・文化庁

奈良県における取組

奈良県は、一昨年来、下記のとおり県主催の「奈良の仏像海外展」を企画し、国の関係機関に協力を要請してまいりました。

文化庁、国際交流基金をはじめとする関係機関のここまでのご協力に感謝申し上げます。

記

I 趣 旨

2020年の東京オリンピック・パラリンピックを契機に日本の文化の源流を発信すべく、東アジア、中央アジアとのゆかりの深い奈良の仏像等を欧州の著名な美術館で展示

II 開催概要（案）

①開催時期：2019年（オリンピックの前年）

②開催場所：パリ（ギメ東洋美術館）
ロンドン（大英博物館）

③開催主体：奈良県

III 関係機関（県からは協力依頼済）

文化庁、外務省、（独法）国立文化財機構（東京国立博物館、奈良国立博物館）、（独法）国際交流基金、（一財）自治体国際化協会

奈良の仏像海外展示企画委員会

〈委員〉

奈良県知事	荒井正吾
奈良県文化政策顧問	青柳正規(委員長)
奈良大学文学部文化財学科 教授	関根俊一
京都大学大学院文学研究科 教授	
兼 奈良県学芸政策顧問	根立研介
奈良県立橿原考古学研究所 所長	菅谷文則

〈特別委員〉

文化庁美術学芸課 主任文化財調査官	奥 健夫
文化庁美術学芸課 国際文化財交流協力官	樋口理央
東京国立博物館 副館長	井上洋一
奈良国立博物館 学芸部長	内藤 栄
国際交流基金 文化事業部長	伊東正伸

昨年5月の日仏首脳会談後、本企画のうちパリでの開催につきましては政府が開催される「ジャポニスム2018」の一翼を担う企画と位置づけしてほしいとのご要請があり、喜んでお受けしました。

国にお願いすること

「ジャポニスム2018」の機会に奈良のトップクラスの仏像を海外の著名美術館に展示することは、2020年東京オリンピック・パラリンピックを前に、日本文化の高いレベルを海外に発信でき、欧州からの訪日客の増加につなげる絶好の機会と考えます。

現在、県内社寺の国宝等を中心に、出陳交渉中ですが、**トップクラスの仏像の展示が実現**するよう、引き続きサポートをお願いしたい。
具体的には、以下の点をお願いしたい。

- (1) 専門的な知見に基づく奈良の仏像海外展示の取り組みへの全般的な助言。
- (2) 国宝等重要な文化財の海外への搬出入や開催館における円滑な展示への**技術的、人的な支援**。



引用：秋山光和編著『世界の美術館14 ギメ東洋美術館』講談社、1965

【県担当部局】 地域振興部文化資源活用課